

熊本学園大学 機関リポジトリ

## 宮里六郎教授の退職記念号によせて

著者	細江 守紀
雑誌名	熊本学園大学論集 『総合科学』
巻	26
号	1
発行年	2020-12-25
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1113/00003371/">http://id.nii.ac.jp/1113/00003371/</a>

## 宮里六郎教授の退職記念号によせて

熊本学園大学 学長 細 江 守 紀

宮里六郎先生は、1978年3月に中央大学文学部教育学科をご卒業後、東京学芸大学大学院教育学研究科に進学され、1982年3月に同研究科修士課程を修了後、1982年より國學院大學幼児教育専門学校の専任教員をお努めになった後、1988年4月に熊本商科大学短期大学部保育科講師として着任されました。1991年4月に保育科助教授、その後、熊本短期大学が熊本学園大学短期大学部へ名称変更となり、1999年1月に熊本学園大学短期大学部保育科教授へと昇格されました。また、2000年4月に熊本学園大学社会福祉学部教授となられ、これ以降、子ども家庭福祉学科の保育士養成課程の履修指導に熱心に取り組まれるとともに、教育・研究分野で多くの業績を残されました。

先生のご専門は保育学で、子育て支援や現場で働く保育士との共同研究など、優れた研究成果を積み上げられてきました。保育学としての発達研究－「荒れる子」「キレル子」問題、子ども中心主義保育の実践的検討、過疎地における保育・子育て問題などの研究課題に意欲的に取り組まれました。

この他にも、多数の学術論文や学会報告に見られるとおり、長年にわたって着実な研究成果を積み上げられてきています。また、2002年から4年間、第一部・第二部社会福祉学科長、その後2010年10月から2015年3月まで、学校法人熊本学園の評議員と熊本学園大学附属敬愛幼稚園の園長をお務めになり、学園の発展に一方ならぬご貢献をなさいました。

1988年より長年にわたって本学の発展にご貢献いただいた宮里先生は、2020年3月をもってご退職となりました。また、この年の2月に子ども家庭福祉学科主催の「I'm home Kofuku ～在校生・卒業生交流事業～（宮里六郎先生を囲む会）」が開催され、最後の講義をなさったそうです。在校生・卒業生や保育関係者約120名が参加し、先生との別れを惜しみながらも思い出話に花が咲いたとお聞きしております。

先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学へと発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

宮里六郎先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。